

6. 安全性要約書（GSS）の作成、保存

- TRA の計算が終了し、リスク比（RCR）がすべて1未満となっていることを確認したら、安全性要約書（GSS）を作成するために「GSS 作成」ボタンを押してください。GSS の自動作成が開始されます。（図 10）
- GSS の作成が完了すると、「GSS」のシートが表示されます。GSS の内容は編集可能となっていますので、必要に応じて、加筆・修正してください。
なお、「ばく露」、「推奨するリスク管理措置」のセクションでは、GSS の雛型シートの右側にフレーズの選択肢を列挙しています。

GSSMaker で作成される GSS 雛型シートの右側に選択肢を列挙

ばく露 (EXPOSURE)				
項目	ばく露	候補1	候補2	候補3
作業者ばく露	管理されたばく露のある閉鎖系・連続プロセスでの作業において、メンテナンス、サンプリングおよび装置故障の際等に、作業者への経皮・吸入ばく露の可能性がある。	ばく露は製造設備が、当該物質を使用する様々な産業設備で生じる。製造、輸送、保管、閉鎖系での反応等である。	製造工程での作業工程におけるメンテナンス、サンプリング、試験、手動での輸送、その他の作業の際にばく露をすることがある。	
	専用設備での船舶/大容量コンテナへの or からの物質や調剤の移し替え作業において、【例：塵/蒸気/エアロゾルの発生、流出、装置の清掃】に伴い、作業者への経皮・吸入ばく露の可能性がある。	ばく露は製造設備が、当該物質を使用する様々な産業設備で生じる。製造、輸送、保管、閉鎖系での反応等である。	製造工程での作業工程におけるメンテナンス、サンプリング、試験、手動での輸送、その他の作業の際にばく露をすることがある。	
	流出を最小化するように設計された条件での小容量コンテナへの物質や調剤の移し替え作業において、作業者への経皮・吸入ばく露の可能性がある。	ばく露は製造設備が、当該物質を使用する様々な産業設備で生じる。製造、輸送、保管、閉鎖系での反応等である。	製造工程での作業工程におけるメンテナンス、サンプリング、試験、手動での輸送、その他の作業の際にばく露をすることがある。	
消費者ばく露	接着剤、シール剤等の製品として使用され、消費者への経皮・吸入ばく露の可能性がある。	消費者用・業務用として使用されるが、塗料を含む様々な製品の製造に使用されるため、残留モノマーとして消費者へのばく露の可能性は限定的であり、そのほとんどは製造・混合プロセスを通じて排出される。	製品が濡れた場合、強い臭気によって気づかれるが、まれに健康リスクを生じさせる。	
環境ばく露	産業における物質の製造工程から、主に大気及び水環境へ放出される可能性がある。	環境中への放出の可能性は限定的であり、そのほとんどは製造・混合プロセスを通じて排出される。	製品が濡れた場合、強い臭気によって気づかれるが、まれに健康リスクを生じさせる。	
	産業における調剤の調合工程から、主に大気及び水環境へ放出される可能性がある。	環境中への放出の可能性は限定的であり、そのほとんどは製造・混合プロセスを通じて排出される。	製品が濡れた場合、強い臭気によって気づかれるが、まれに健康リスクを生じさせる。	
	消費者用や業務用の【例：繊維洗浄の洗剤、機械洗浄液、トイレットペーパー、自動車と自転車の手入れ剤（つやだし、潤滑油、凍結防止剤）、塗料溶剤と接着剤、芳香剤と消臭スプレーのエアロゾルの高圧ガス】等、加工助剤として屋内で使用され、広範囲の大気及び水環境へ多く放出されやすい。	環境中への放出の可能性は限定的であり、そのほとんどは製造・混合プロセスを通じて排出される。	製品が濡れた場合、強い臭気によって気づかれるが、まれに健康リスクを生じさせる。	
	【例：塗料及びコーティング、接着剤の結合成分、繊維繊維と皮革製品の染料、金属被覆及び亜鉛めっきの金属】等の物質または調剤として、産業において物体内や物体表面に物理的や化学的結合で含有・附着させるように使用される。主に大気及び水環境へ放出されやすい。また土壌環境へも放出される可能性がある。	環境中への放出の可能性は限定的であり、そのほとんどは製造・混合プロセスを通じて排出される。	製品が濡れた場合、強い臭気によって気づかれるが、まれに健康リスクを生じさせる。	

推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)				
項目	推奨するリスク管理措置	候補1	候補2	候補3
対作業者ばく露	作業の際は、適切な保護具を着用し、適切な局所排気を適用する。また、作業環境許容濃度の勧告値が設定されている場合は、それを下回る環境濃度となるよう管理・制御する。	〇〇の作業の際は、適切な保護具を着用する。	〇〇の作業においては局所排気を適用する。	〇〇の作業の際は、××による作業環境許容濃度の勧告値△△mg/m ³ (TWA-時間加重平均地)を下回る環境濃度と
対消費者ばく露	商品の取扱説明書に従って使用する。	商品の取扱説明書に従って使用する。	屋内での使用時には十分な換気を心がける。	通常の取扱説明書に従った適切な使用方法と換気防止策を講じ、定期的な排出量の確認、日常管理、取り扱いに注意を払う。
対環境ばく露	適切な排水処理施設や排ガス処理施設を設置する。また、漏洩防止策を講じ、定期的な排出量の確認、日常管理、取り扱いに注意を払う。	適切な排水処理施設を設置する。	適切な排ガス処理施設を設置する。	

図 9 GSS シートでのフレーズの選択肢の列挙

- 「GSS」や「TRA 計算結果」のシートは上書きされるため、作成した内容を保存しておきたい場合にはシートをコピーして別ファイルとして保存するようにしてください。（図 11、図 12）

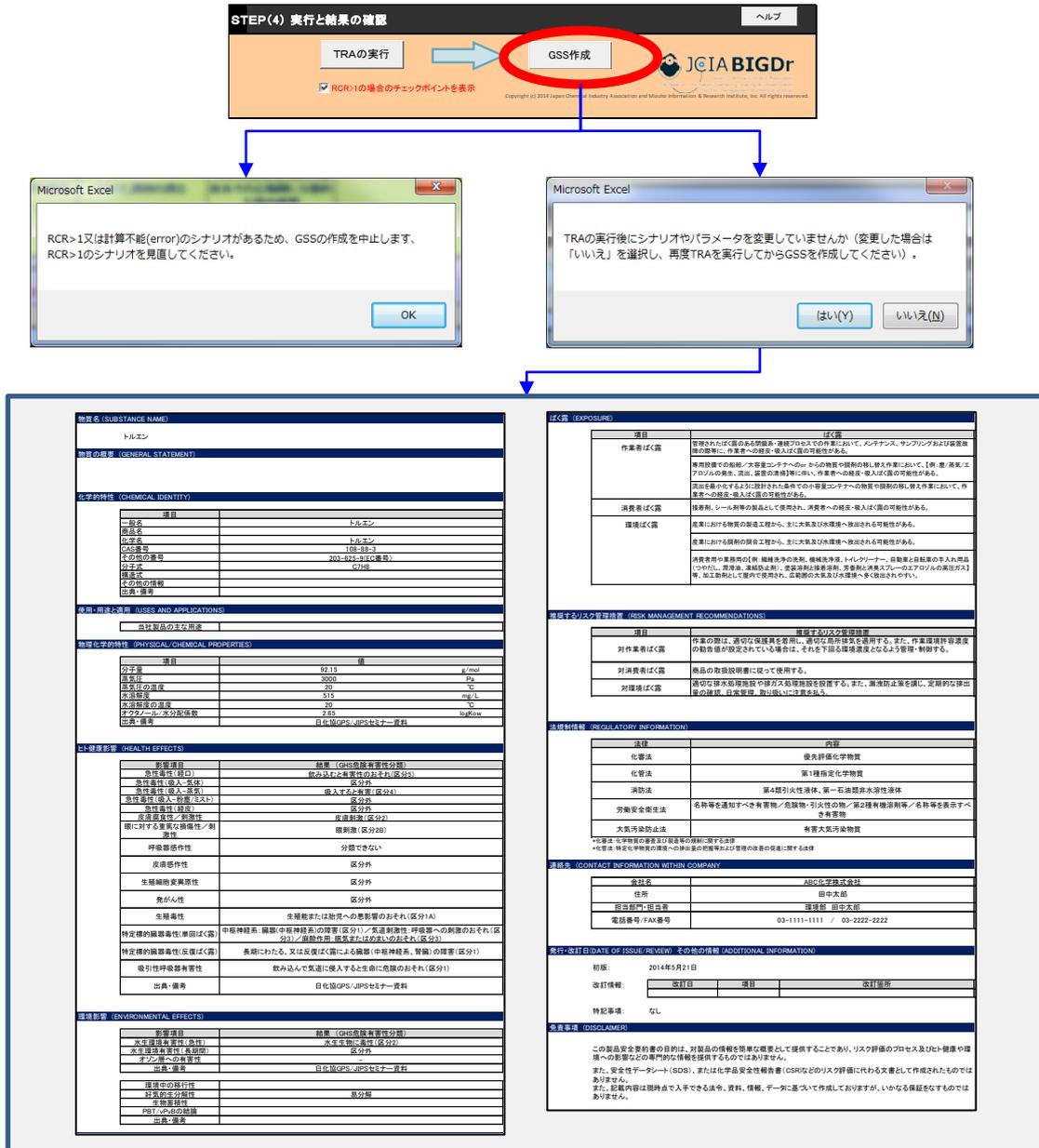
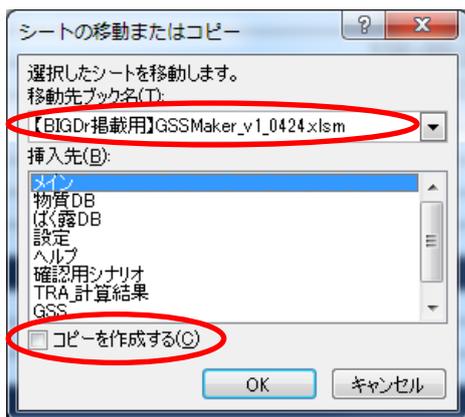
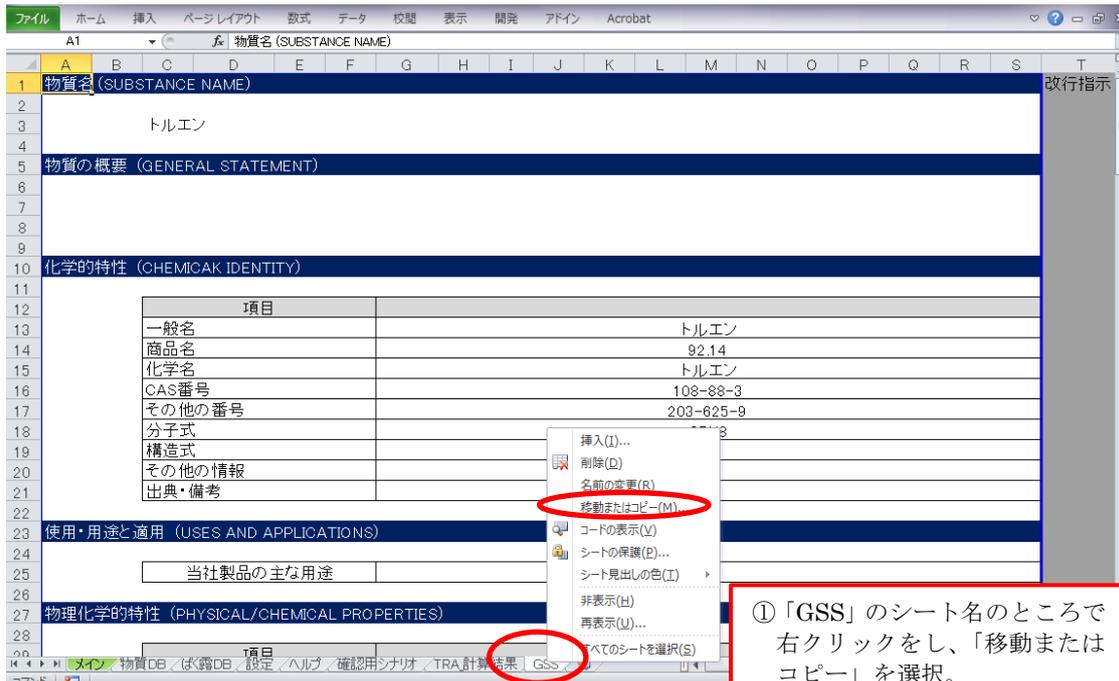
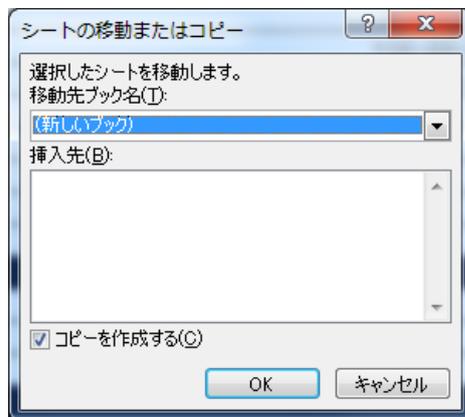


図 10 GSS Maker の GSS 作成のフロー

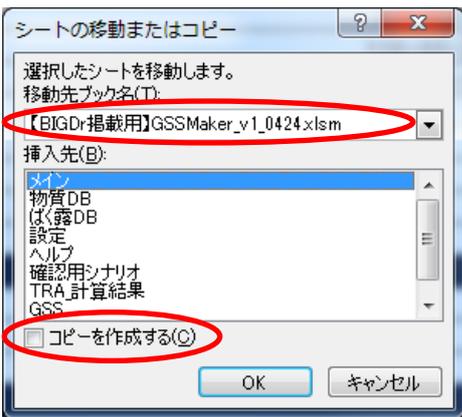
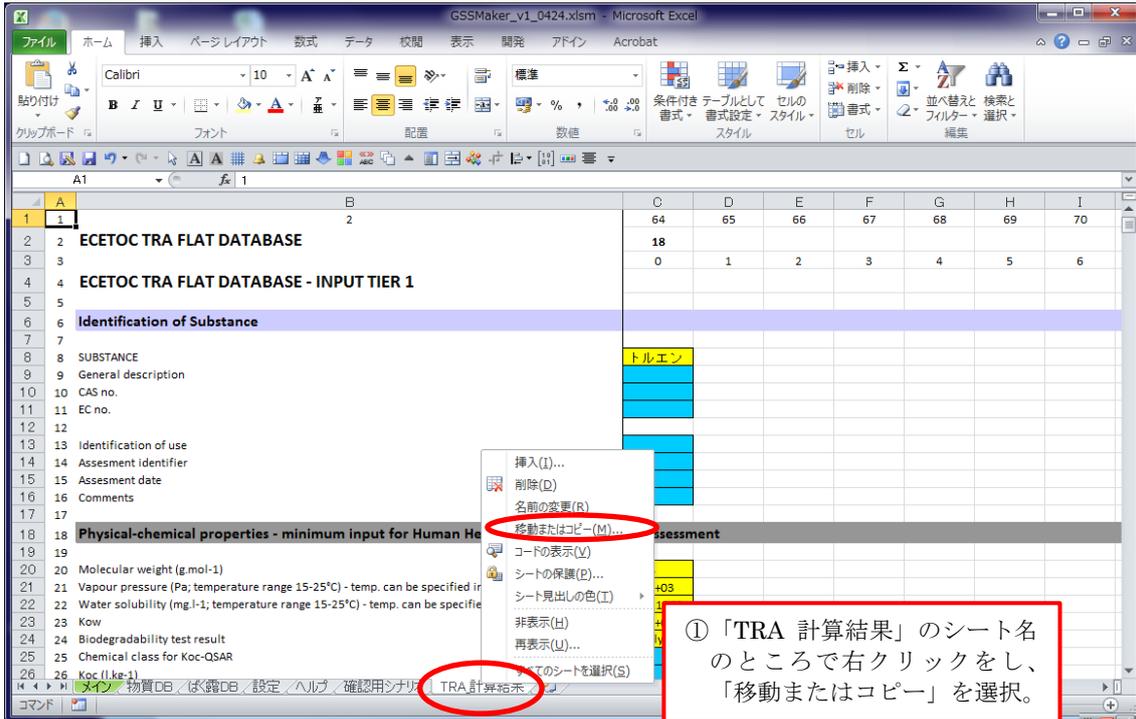


② 「移動先ブック名」のプルダウンから、「(新しいブック)」を選択。
また、下の方にある「コピーを作成する」にチェック。

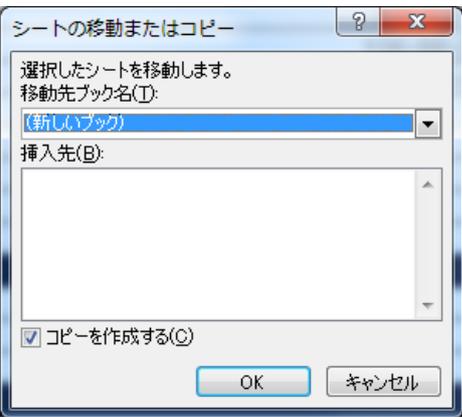


③ ②が終わると左画面のようになるはずなので、「OK」ボタンを押すと、GSSのシートが新しいExcelファイルとなります。そのファイルに名前を付けて保存すればGSSの保存作業は完了です。

図 11 GSSシートを別ファイルにコピーする方法



② 「移動先ブック名」のプルダウンから、「(新しいブック)」を選択。
また、下の方にある「コピーを作成する」にチェック。



③ ②が終わると左画面のようになるはずなので、「OK」ボタンを押すと、GSS のシートが新しい Excel ファイルとなります。そのファイルに名前を付けて保存すれば TRA 計算結果の保存作業は完了です。

図 12 TRA 計算結果シートを別ファイルにコピーする方法

GSSMaker 英語版では、GSS の言語を選択できます（日本語または英語）。

GSS の言語を選択してから「Create GSS」を押してください。指定した言語の GSS が作成されます。

